平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　福島工業株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　6420　URL　http://www.fukusima.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 福島　裕
問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部　部長　(氏名) 日野　達雄　TEL 06-6477-2011

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,027	21.2	1,474	32.1	1,515	35.9	807	47.2
23年3月期第2四半期	16,528	16.7	1,116	56.2	1,114	65.4	548	58.7

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　864百万円　(100.0%)　23年3月期第2四半期　432百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	76.26	―
23年3月期第2四半期	50.08	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	35,257	20,180	57.0	1,895.91
23年3月期	33,748	19,559	57.7	1,836.68

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　20,084百万円　23年3月期　19,457百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	23.00	23.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,300	6.7	2,430	1.5	2,463	2.0	1,311	6.2	123.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	11,033,080 株	23年3月期	11,033,080 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	439,459 株	23年3月期	439,347 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,593,698 株	23年3月期2Q	10,959,440 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報……3
２．サマリー情報（その他）に関する情報……3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動……3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用……3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示……3
３．四半期連結財務諸表……4
（１）四半期連結貸借対照表……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書……6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書……8
（４）継続企業の前提に関する注記……10
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……10
（６）追加情報……10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により依然として厳しさが残るものの、サプライチェーンやインフラの復旧により国内経済は一時の落ち込みから回復しつつあります。しかしながら、急激な円高の進行、欧州の経済危機、米国の経済減速懸念等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

当企業集団を取り巻く環境は、流通産業では、震災後の復興需要や節電対応商品の個人消費が伸び、コンビニやスーパーを中心に堅調に売上が伸びました。また、外食産業では、震災による自粛ムードは和らいだものの、消費者の節約志向や内食志向の強まりから、売上が前年を下回る厳しい状況となりました。

このような状況の中、当企業集団は、独自の食品安心技術とトータルソリューション力で安全・安心・おいしい・健康な食生活を生活者に提供し、企業理念に掲げる「幸せ創造企業」の実現に向けて取り組んでまいりました。

冷凍冷蔵庫販売では、震災後の消費者の節約志向による外食売上の低迷や先行きの不透明感から飲食店の設備投資が控えられ、冷凍冷蔵庫の売上は一時落ち込みましたが、夏季には店舗の改装や新規出店が徐々に増加したことや外食以外の病院・老健施設・給食施設向けの売上拡大が寄与したことから、汎用業務用冷蔵庫の売上は前年並みとなりました。また、食品工場向けのトンネルフリーザーの売上が好調であったことやファミリーレストラン・コンビニ向けに小型ドゥコンディショナーの売上が伸びたこと、病院や調剤薬局向けにメディカル機器の売上が伸びたことなどから、冷凍冷蔵庫販売の売上高は堅調に推移いたしました。さらに、加熱した食材を急速冷却する小型のブラストチラー、２室独立制御ドゥコンディショナーをモデルチェンジし、操作性やメンテナンス性の高い当社独自製品のラインアップを充実させました。

冷凍冷蔵ショーケース販売では、節電によるコスト削減効果や復興需要によってコンビニやスーパーの業績が伸びたことから、長年控えられていた改装や新規出店に対する投資が増加し、冷凍冷蔵ショーケースの売上高は堅調に推移いたしました。特に店舗への節電要請に対する関心が高まり、業界トップクラスの省エネショーケースと空調・照明を含めた店舗全体の省エネ制御システムの売上が伸びました。また、陳列した商品をより美しく魅力的に商品を照らす当社独自のＬＥＤクリスタル照明棚板を６月に発売し、省エネ提案のラインアップを拡充させました。

サービス販売では、節電対策による省エネ需要が高まる中、製品寿命を延ばし、効率的な運転を維持するサービスメニューの提案を引き続き行ってまいりました。また、空調を含めた厨房内の機器を一括で請け、更なるメンテナンス需要の取り込みを図ったことから、サービス販売の売上高は堅調に推移いたしました。

設備工事では、食品スーパー等へのショーケースの販売増大に伴い、設備工事の売上が増加いたしました。

製造部門では、今年５月に実施した横型冷蔵庫モデルチェンジへの投資による減価償却費の増加に加え、鉄・ステンレス・フロンガスなどの素材が高騰する中、ライン改造による生産性の向上に努めるとともに、利益確保に向けて部品の共通化や原材料の見直しによるコスト低減を行いました。また、製造部門以外でも設備工事での原価低減活動や全社での更なる経費削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は 200 億２千７百万円（前年同四半期比 21.2%増）、営業利益は 14 億７千４百万円（前年同四半期比 32.1%増）、経常利益は 15 億１千５百万円（前年同四半期比 35.9%増）、四半期純利益は８億７百万円（前年同四半期比 47.2%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は 352 億５千７百万円となり、前連結会計年度末に比べ 15 億９百万円増加しております。

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は 237 億１千２百万円（前連結会計年度末は 231 億８千７百万円）となり、５億２千４百万円増加しました。これは主として売上の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加によるものです。

（固定資産）
当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は115億４千４百万円（前連結会計年度末は105億６千万円）となり、９億８千４百万円増加しました。これは主として投資その他の資産の「その他」に含まれる長期性預金の増加によるものです。
（流動負債）
当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は 136 億４百万円（前連結会計年度末は123億７千８百万円）となり、12億２千５百万円増加しました。これは主として仕入の増加に伴う支払手形及び買掛金の増加によるものです。
（固定負債）
当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は14億７千２百万円（前連結会計年度末は18億９百万円）となり、３億３千７百万円減少しました。これは主として社債が１年以内に償還を迎えることにより流動負債の「その他」に計上されたことによります。
（純資産）
当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は201億８千万円（前連結会計年度末は195億５千９百万円）となり、６億２千万円増加しました。これは主として四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

（キャッシュ・フローの状況）
当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益を14億６千６百万円計上し、主に投資活動に資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ９億８千万円減少し、104億３千６百万円となりました。
当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ･フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。
（営業活動によるキャッシュ・フロー）
営業活動の結果得られた資金は、９億９百万円（前年同四半期比７億２千９百万円減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上によるものです。
（投資活動によるキャッシュ・フロー）
投資活動の結果使用した資金は、14 億９千３百万円（前第２四半期連結累計期間は８千１百万円の収入）となりました。これは主に定期預金の預入による支出をしたことによります。
（財務活動によるキャッシュ・フロー）
財務活動の結果使用した資金は、３億４千９百万円（前年同四半期比１億５千２百万円減）となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報
通期の業績予想につきましては、先行きの不透明感はあるものの、上期業績が好調に推移したことから、通期においても上回る見込みのため、平成23年10月28日に上方修正いたしました。詳細は、平成23年10月28日に開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報（その他）に関する情報
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はございません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はございません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はございません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,591,186	10,620,336
受取手形及び売掛金	9,023,317	10,083,785
商品及び製品	829,441	1,035,290
仕掛品	550,570	607,912
原材料及び貯蔵品	875,179	1,077,023
その他	688,367	658,718
貸倒引当金	△370,379	△370,511
流動資産合計	23,187,683	23,712,554
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,669,543	3,669,543
その他（純額）	3,684,350	3,600,071
有形固定資産合計	7,353,893	7,269,614
無形固定資産	92,347	91,649
投資その他の資産		
その他	3,181,758	4,254,750
貸倒引当金	△67,344	△71,207
投資その他の資産合計	3,114,413	4,183,543
固定資産合計	10,560,654	11,544,808
資産合計	33,748,337	35,257,362
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,521,013	9,825,180
短期借入金	314,794	286,350
未払法人税等	825,947	708,028
賞与引当金	692,355	714,248
製品保証引当金	192,106	192,317
その他	1,832,329	1,878,394
流動負債合計	12,378,546	13,604,519
固定負債		
社債	300,000	－
長期借入金	561,587	486,707
退職給付引当金	624,992	656,681
役員退職慰労引当金	217,429	226,490
資産除去債務	93,998	94,773
その他	11,843	7,367
固定負債合計	1,809,850	1,472,020
負債合計	14,188,397	15,076,539

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	2,886,073	2,886,073
利益剰余金	14,241,371	14,805,545
自己株式	△350,646	△350,755
株主資本合計	19,536,989	20,101,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145,384	207,577
為替換算調整勘定	△225,094	△224,034
その他の包括利益累計額合計	△79,710	△16,456
少数株主持分	102,660	96,224
純資産合計	19,559,940	20,180,822
負債純資産合計	33,748,337	35,257,362

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	16,528,188	20,027,178
売上原価	12,252,086	15,383,091
売上総利益	4,276,102	4,644,087
販売費及び一般管理費	3,159,735	3,169,833
営業利益	1,116,366	1,474,253
営業外収益		
受取利息	5,754	3,580
受取配当金	19,168	22,151
受取家賃	42,030	47,293
受取補償金	2,086	5,326
その他	37,626	42,318
営業外収益合計	106,666	120,671
営業外費用		
支払利息	13,933	9,262
投資事業組合運用損	4,846	250
為替差損	75,922	55,286
支払補償費	11,072	8,376
その他	2,422	6,433
営業外費用合計	108,198	79,609
経常利益	1,114,834	1,515,315
特別利益		
貸倒引当金戻入額	11,663	－
特別利益合計	11,663	－
特別損失		
投資有価証券売却損	12,000	－
投資有価証券評価損	8,261	48,757
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	59,269	－
特別損失合計	79,531	48,757
税金等調整前四半期純利益	1,046,966	1,466,557
法人税、住民税及び事業税	546,999	688,641
法人税等調整額	△40,279	△22,313
法人税等合計	506,719	666,327
少数株主損益調整前四半期純利益	540,246	800,230
少数株主損失（△）	△8,646	△7,599
四半期純利益	548,892	807,830

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	540,246	800,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79,909	62,192
為替換算調整勘定	△28,049	2,224
その他の包括利益合計	△107,958	64,417
四半期包括利益	432,287	864,647
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	444,318	871,083
少数株主に係る四半期包括利益	△12,030	△6,436

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,046,966	1,466,557
減価償却費	254,358	351,595
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△15,299	2,617
賞与引当金の増減額（△は減少）	155,194	21,893
製品保証引当金の増減額（△は減少）	12,445	211
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△19,084	31,688
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	6,977	9,060
受取利息及び受取配当金	△24,922	△25,732
支払利息	13,933	9,262
為替差損益（△は益）	63,666	50,000
投資有価証券売却損益（△は益）	12,000	－
投資有価証券評価損益（△は益）	8,261	48,757
投資事業組合運用損益（△は益）	4,846	250
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△42
有形固定資産除却損	－	2,059
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	59,269	－
売上債権の増減額（△は増加）	106,815	△1,125,212
たな卸資産の増減額（△は増加）	△552,672	△467,477
その他の流動資産の増減額（△は増加）	156	11,442
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△11,067	△11,440
仕入債務の増減額（△は減少）	921,290	1,312,544
その他の流動負債の増減額（△は減少）	80,683	△9,189
その他	762	1,175
小計	2,124,583	1,680,022
利息及び配当金の受取額	24,923	25,678
利息の支払額	△13,941	△9,225
法人税等の支払額	△496,764	△787,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,638,801	909,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,380	△1,130,042
定期預金の払戻による収入	12,000	112,000
有形固定資産の取得による支出	△64,814	△441,352
有形固定資産の売却による収入	－	5,140
無形固定資産の取得による支出	△6,770	△7,181
投資有価証券の取得による支出	△17,943	△34,011
投資有価証券の売却による収入	188,000	－
貸付金の回収による収入	750	1,050
従業員に対する貸付金の回収による収入	680	680
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,521	△1,493,716

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△141,806	△104,724
自己株式の取得による支出	△117,469	△109
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,341	△1,625
配当金の支払額	△241,767	△243,045
財務活動によるキャッシュ・フロー	△502,383	△349,503
現金及び現金同等物に係る換算差額	△86,489	△46,120
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,131,449	△980,171
現金及び現金同等物の期首残高	9,345,135	11,416,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,476,584	10,436,311

（４）継続企業の前提に関する注記
当第２四半期連結累計期間（自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年９月 30 日）
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
当第２四半期連結累計期間（自　平成 23 年４月１日　至　平成 23 年９月 30 日）
該当事項はありません。

（６）追加情報
第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第 24 号　平成 21 年 12 月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 24 号　平成 21 年 12 月４日）を適用しております。